

～ 小学生の肌に関する実態調査 ～

小学生の 2 人に 1 人が肌トラブルを経験！

5 人に 1 人が「普段からメイク」をし、そのうち約 8 割が肌トラブル経験
適切な情報やケア方法が必要に 皮膚科医も誤った洗顔や保湿、紫外線対策を警鐘

株式会社ファンケルは、小学 4・5・6 年生とその保護者(各 1,032 人／1,032 組)を対象に、「小学生の肌に関する実態調査」を実施しました。

本調査では、お子さん自身の回答に加え、保護者にも、お子さんの肌に関する正しい知識の有無やお子さんのスキンケア、紫外線対策などについて回答いただきました。

その結果、小学生の 2 人に 1 人が肌トラブルを経験、さらに、5 人に 1 人の小学生が普段からメイクをし、そのうちの約 8 割が肌トラブルを経験している実態が明らかになりました。これは、保護者の方に必要な情報が十分に行き届いていないことから、お子さんに最適なスキンケア方法やアイテムに関する知識不足が要因と考えられます。皮膚科医からも誤った洗顔や保湿、紫外線対策を警鐘するなど、肌トラブル対策に関する適切なケア方法やアイテムなどの情報提供の必要性が読み取れる結果となりました。

【調査結果トピックス】 ※詳細は後ページ参照

① 小学生の 2 人に 1 人が肌トラブルを経験！

多くが大人用のスキンケアアイテムを家族と兼用。中にはパックや美容液を使う意識の高いお子さんも。

② 5 人に 1 人の小学生がメイクする時代に。開始年齢の平均年齢は 8.72 歳。

メイク利用率と肌トラブル率は今後も増加か。

③ 皮膚科医も誤った洗顔や保湿、紫外線対策を警鐘。

お子さんへの適切なスキンケア方法やアイテムに関する情報提供が必要。

<調査概要>

- 調査名称：「小学生のお子様の肌に関するアンケート調査」
- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2025 年 5 月 2 日(金)～7 日(水)
- 調査対象：小学生(4・5・6 年生)の児童と保護者 1,032 組(各 1,032 人／子の学年で均等割付)
- 地域：全国(北日本、東日本、西日本、南日本均等割付)

※グラフの構成比(%)は小数第 2 位以下を四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

- 調査委託先：楽天インサイト

- ① 小学 4・5・6 年生の 2 人に 1 人が肌トラブルを経験！
 多くが大人用のスキンケアアイテムを家族と兼用。
 中にはパックや美容液を使う意識の高いお子さんも。

お子さんに「気になる顔の肌の変化や違和感、悩み、肌トラブルはありますか」と質問したところ、約半数が経験あると回答しました(図 1)。最も多かった肌トラブルが「乾燥」、次いで「にきび」「顔の赤み」が挙げられました(図 2)。

図 1 肌トラブルの有無

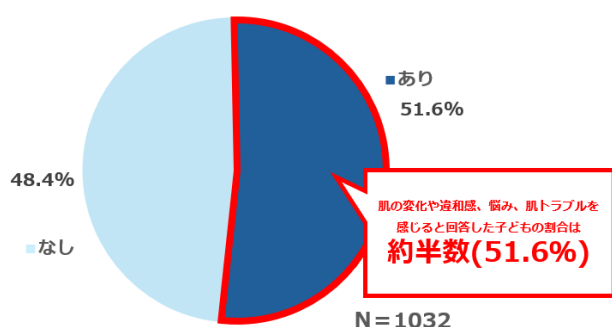
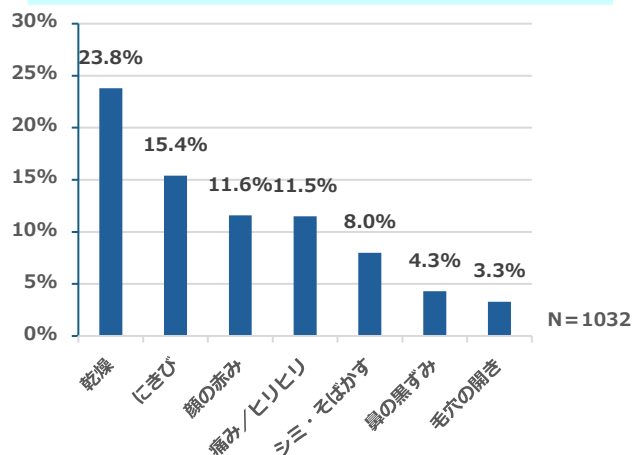


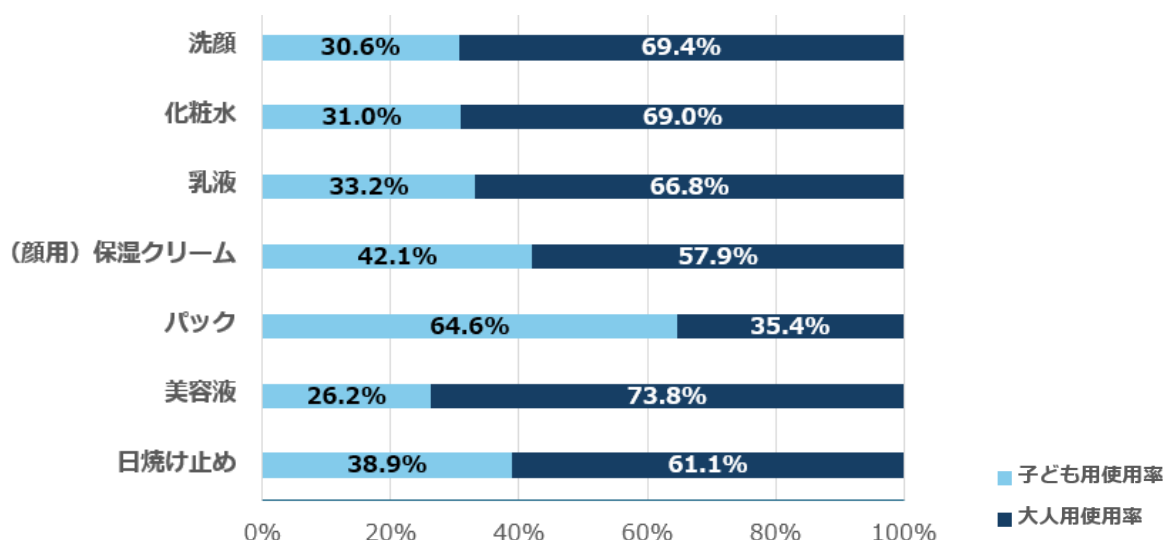
図 2 肌トラブルの内訳(複数回答可)



お子さんに「使用しているスキンケアアイテム」について質問したところ、最も多かったのが「洗顔料」、次いで「顔用の保湿クリーム」「化粧水」と続き、中にはパックや美容液を使用しているお子さんもいました。

肌トラブルを感じる小学生が半数以上いる中で、多くのお子さんが実際に使用しているスキンケアのアイテムは、子ども用ではなく、親や家族と兼用で大人用を使用。スキンケアだけでなく、日焼け止めも、6 割以上のお子さんが大人用を使用するという結果でした。美容や日焼け対策に意識が高いお子さんがいるものの、自身に合うアイテムが分からずに使用しているようでした(図 3)。

図 3 日焼け止め・各スキンケアアイテムに関して
子ども用商品と大人用商品の使用割合



② 5人に1人がメイクする時代に。開始年齢の平均は8.72歳という事実。
メイク利用率と肌トラブル率は今後も増加か。

お子さんに「普段からお化粧(メイク)をしていますか」と問うと、5人に1人が普段からメイクをしていることが分かりました(図4)。使用アイテムの1位が「化粧下地」で約6割、次いでファンデーション、チークと続き、肌をきれいに見せる効果のあるものが上位になっていました。

さらに、メイクを始めた年齢の平均が8.72歳と低学年という結果もあり、ここでもお子さんの美容に関する意識の高さが見られる傾向がありました(図5)。

図4 お化粧(メイク)をしている子どもの割合
約2割がメイク使用

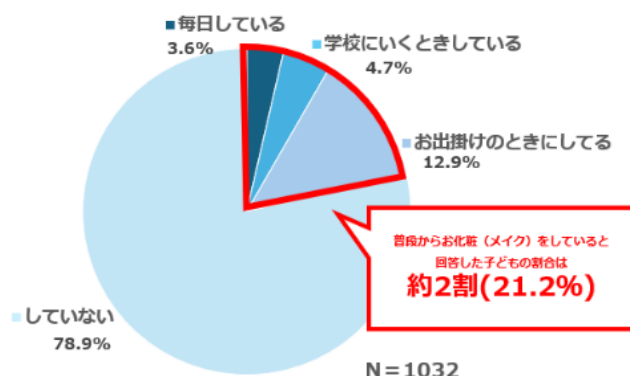
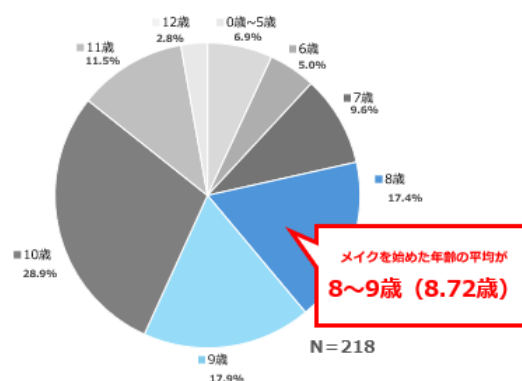


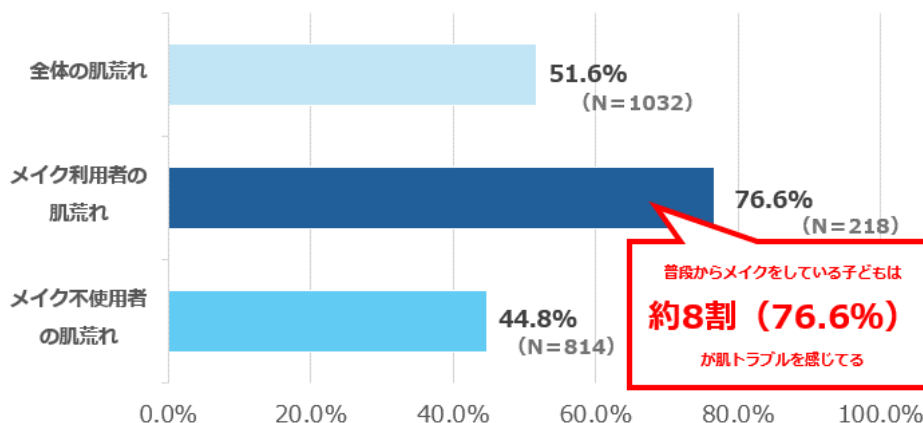
図5 メイク開始年齢の割合
開始平均年齢は8.72歳



反面、普段からメイクをしているお子さんは、約8割が肌のトラブルを経験しており、全体の肌トラブル経験が約半数に対し、かなり多くの割合であることが分かりました(図6)。また、メイク不使用のお子さんは、全体より少なく、約4割半であり、これらを踏まえてメイクによる一定の影響があると考えられます。特に日焼け後の肌荒れについては、メイクをしていることで乾燥などの肌荒れを感じやすくなっていることが考えられます。

小学生のメイク利用が高まる中で、肌トラブル率も増加することが考えられ、夏場の乾燥対策や紫外線対策がさらに重要であることが伺い知れます。

図6 肌荒れ状態の比較
メイク使用とメイク不使用では、肌荒れの状態に大きな開きが見られた



③ 皮膚科医も誤った洗顔や保湿、紫外線対策を警鐘。

お子さんへの適切なスキンケア方法やアイテムを見つける情報提供が必要。

保護者に対し、お子さんを含め小学生の肌状態について質問したところ、約 7 割の方が「小学生の肌は大人に比べて水分量が多い」、また約半数の方が「赤ちゃんの時より肌は丈夫である」と回答しました(図 7・8)。

当社の研究成果で、3 歳から 12 歳の幼児から学童期では、成人より角層水分量が少ないこと、また、環境などによってバリア機能が低下することなどが分かっています※。お子さんの肌状態の正しい情報が十分に行き届いていないことが、このような結果の一つになったと考えられます。

※参考：児童期は年齢や季節によって皮膚のバリア機能が成人より低下することを確認

https://www.fancl.jp/news/20240103/news_20240103.html

図 7 小学生の肌は大人と比べて水分量が多いと
約 7 割が回答 水分量が少ないと回答は 6.6%

A.正しい答えは、大人と比べて＜水分量は少ない＞

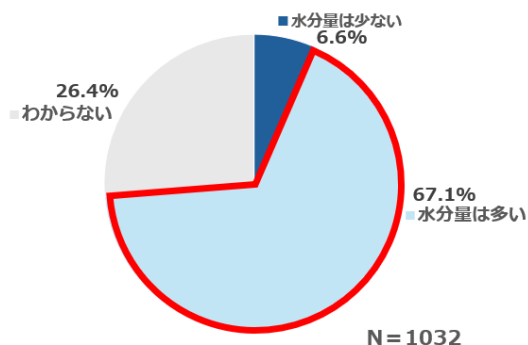
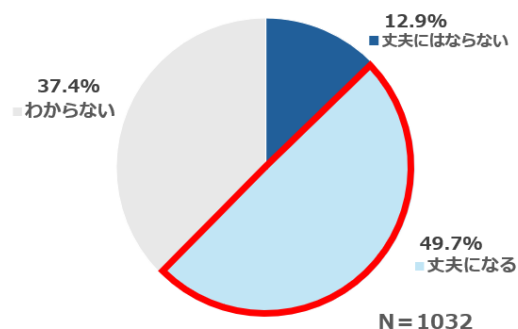


図 8 約 5 割の方が小学生になるにつれ、赤ちゃんの時と比べて肌はどんどん丈夫になると回答

A.正しい答えは、肌はどんどん＜丈夫にはならない＞



また、「お子さんの紫外線対策は、自信をもって対策ができている」という方が約 3 割という結果でした。さらに「子どもの正しい日焼け止めの使い方についても、約 7 割以上が知らないと回答しました(図 9・10)。

図 9 正しい紫外線対策ができていると思うか

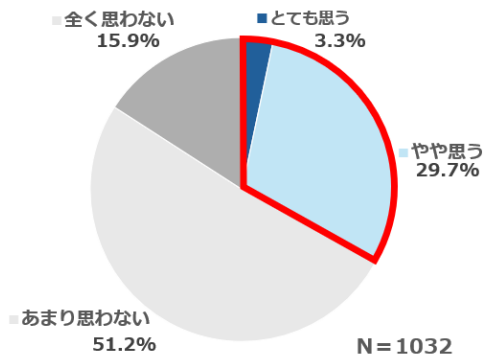
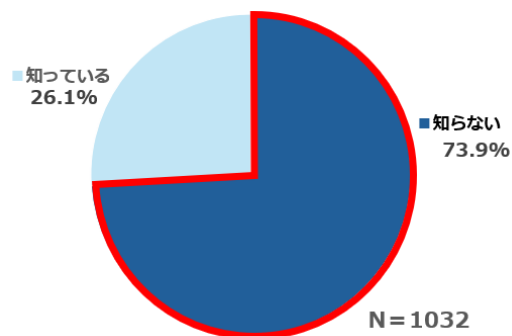


図10 正しい日焼け止めの使い方を知っているか



今回の調査を得て、スキンケア方法やアイテム、紫外線対策など、お子さんに最適な情報提供が、肌トラブルや紫外線対策に必要であると考えられました。本調査の監修をいただいた棟田加奈子先生からも、「小学生が日常的に正しい洗顔や保湿、紫外線対策などを行うことでトラブルを未然に防ぐ」というコメントをいただきました。

この結果を踏まえ、当社では、今後もお子さんの肌状態や最適なスキンケアに関する情報を継続的に発信してまいります。

<監修／コメント>

皮膚科医・小児皮膚科医 棟田加奈子（むねだ かなこ）先生

東京医科歯科大学を2009年に卒業後、大学病院・総合病院で

皮膚科医として幅広い皮膚疾患に対応。

2022年7月に港区北青山、神宮外苑の地に皮膚科・小児皮膚科・美容皮膚科

「私の皮膚科」を開業。



今回の調査により、多くの小学生が肌トラブルを抱えていることが分かりました。小学生の肌は大人に比べ水分量も皮脂量も少なく、肌も薄いので様々なトラブルが起きやすいです。小さい頃のように親が手取り足取りケアすることも減るため、発見や対処が遅れがちになります。また、メイクをする小学生が増え、その内、肌トラブルを感じている割合は8割にものぼります。肌トラブルを未然に防ぐためには、肌を清潔に保ち保湿することが大切です。そして、当院にも日焼け後のトラブルで来院する小学生が多く、紫外線対策も重要です。お子さまはべたつきや厚塗りが苦手なことが多いので、肌に合ったものを選び紫外線のもとでは、塗り直しを習慣にすることが大切です。

小学生が日常的に正しい洗顔や保湿、紫外線対策などを行うことでトラブルを未然に防ぐだけでなく、自分の肌を大切にする習慣付けを行う事がお子さまの心身の成長につながります。

【参考情報】

「クリアアップ」はお子さんの肌に必要な「洗う」「うるおす」「守る」を徹底し、スキンケアの習慣化を目指す、小学生のためのスキンケアシリーズです。2024年12月に第1弾として、泡洗顔料とジェルミルクを発売、2025年3月にはお子さんの使いやすさと日常生活での紫外線対策を兼ね揃えたUVカットスティックも発売しました。

<製品ラインアップ> ※価格はすべて税込

「クリアアップ 泡洗顔料<医薬部外品>」 / 1,320円

「クリアアップ ジェルミルク<医薬部外品>」 / 1,320円

「クリアアップ UV カットスティック」 / 1,540円



報道関係者からのお問合せ先

株式会社ファンケル 広報部 / 045-226-1230 official@fancl.co.jp